

全 員 協 議 会 記 録

令和元年8月19日(月)
10:01~11:04
全 員 協 議 会 室

〔議員〕

川神議長、田畑副議長
三浦議員、沖田議員、西川議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員、
小川議員、野藤議員、上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、
芦谷議員、永見議員、佐々木議員、道下議員、西田議員、~~澁谷議員、~~
西村議員、牛尾議員

〔執行部〕

市 長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長、
~~教育長~~、総務部長、地域政策部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長、
都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長、教育部長、消防長、
上下水道部長、(広域行政組合事務局長)

〔事務局〕 局長、次長、議事係長

議 題

1 執行部報告事項

- | | |
|-----------------------------|---------|
| (1) 山陰浜田港公設市場の整備スケジュールについて | 【産業経済部】 |
| (2) 浜田開府400年祭記念式典について | 【産業経済部】 |
| (3) (仮称)浜田歴史資料館検討会の検討状況について | 【教育委員会】 |
| (4) その他 | |

2 その他

【詳細は会議録のとおり】

川神議長

ただ今から令和元年8月19日の全員協議会を始めます。本日は澁谷議員並びに石本教育長から欠席の連絡を受けているのでご報告しておきます。それでは議題に入ります。

1 執行部報告事項

(1) 山陰浜田港公設市場の整備スケジュールについて

(2) 浜田開府400年祭記念式典について

川神議長

2点一括で説明いただきます。産業経済部長。

産業経済部長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

報告が終わりました。(1)について議員から質疑はありますか。

道下議員

山陰浜田港公設市場の件ですが、現場の人がどういうスタイルでやっていくのか、いくらぐらいの家賃なのか、どういうスケジュールなのか、全然分かっていらっしゃらないとよく聞きます。上の方は分かっていても現場の人が分かってないのかと思います。現場に行かれてスケジュールや段取りを説明するなど、不信感につながらないようやっていただきたいと思いますが。

産業経済部長

これは仲買の皆さんのお話だと思います。仲買の皆さんとはこれまでもお話をさせていただいています。議員さんが言われる方とは温度差があるのかもしれませんが、いよいよ設計が始まるので間仕切り等も含め盆明けに、業者さんや市の職員と一緒に現地協議を行う予定です。それを見た上でよろしくお願いします。

川神議長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

(2)について議員から質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

(3) (仮称)浜田歴史資料館検討会の検討状況について

川神議長

教育部長。

教育部長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

報告が終わりました。議員から質疑はありますか。

川上議員

先般報道があり、その後たくさんの市民の方から「もう決まったのか、議会も了解したのか」と問われました。いかにもそこに作るかのような報道があったと。これはあまりに早計過ぎるのではと思いますが、いかがでしょうか。

教育部長

先般のお昼の報道を見て、私たちも少し驚いたというか。大半賛成という見出しで、内容もいわゆるA案の御便殿付近でという意見が多かったと報道がありましたので、市民の方ももう決まったのかという認識を持たれたかもしれません。現在の市としてのスタンスはあくまでも、今までお話しているとおり、この検討会では整備する・しないも含めて、するのであれば場所、金額、運営費の方向性を出していただく。それを受けて議会や地域協議会、各種団体との協議をする。その後方向性がある程度出れば専門家との協議をする、というスケジュールを考えていま

す。これは昨年8月17日の全員協議会でもお示しさせていただいているので、私どもとしてもそれに沿って進めている途中です。

まだ決定はしていませんのでご理解ください。

川上議員

であるならば、再度報道の方々にお伝え願いたいです。これはあくまで計画であって決定事項ではないと、もう一度明確にされた方がよろしいかと思えます。

教育部長

検討会を傍聴されていますので、そういった説明はずっとさせていただいています。改めてした方が良いと言われれば確かにそうです。現在はあくまでも検討会の中で、する・しないも含めた検討をいただいています。検討会からの報告の中で、整備した方が良いという流れになればそれを受けて、議会なりに説明させていただく流れです。

ただ、報道側に止めてくださいということではできませんので、方針だけはしっかり言われてもらいますが、そこで受けられた記者の方が委員さんに聞かれて、それを報道されていますので、それについてコメントする立場にないと考えていますので、そこも併せてご理解ください。

牛尾議員

報道の自由は担保されているので、それについて言うつもりはないのですが、具体的にはどこの局でどういう方向の報道があったのか。私は見ていないので分からないので教えていただけますか。

教育部長

4回目の検討会直後には新聞等も出ていましたが、先般NHKの12時15分からのニュース内で、「新歴史資料館検討会委員、大半賛成」という見出しで出ています。15人の委員のうち14人が建設に賛成、または条件付き賛成と回答した。残り1人は賛成でも反対でもない。建設場所については御便殿に隣接する場所を支持する委員が8人と過半数を占めた。しかし整備が12億円あまり、運営費としても年間6千万あまりかかるため委員からは「建設する場合は運営費を抑える努力が必要だ」等の意見も出された、という内容になっています。

当然報道ですので、我々に事前確認協議もありませんし、内容については当該記者さんの責任において出されたと認識しています。

西村議員

最終的にこの事業を市としてやるのが形の上ではっきり分かるのは、市の予算に計上されることだろうと思います。そうしますと2年前の混乱を再び繰り返さないという意味で、どういう意思決定のやり方を市としては内々にお持ちなのか。その辺が私としては非常に気にかかります。前回も説明会をやったわけです。今回もやると言っておられます。2年前は明らかに、市民の声は反対の方が多いと思いましたが。しかし議会でどうなるかはイコールではありません。ですから迷われたと思います。

繰り返しになりますがそういった意味で、市が最終的な意思決定の表現として、予算に計上する・しないの判断をどういう形でなさるのか、もしお答えできればお願いします。

教育部長

仮定としてお話をさせていただきますが、先ほど言いましたように8月22日に第5回目の検討会を予定しています。できればここで一定の方向性なりがまとまって、後日会長から検討会の意見を形として提示していただければというのが前提です。ただ、仮にもしまとまらずにもう1回したいということがあれば、第6回目が開かれることもあります。第5回目で決まったということであれば、9月10日の総務文教委員会には回答を報告させていただこうと思っています。それを受けて市内部で一定の方向性な

りを協議した上、議会と地域協議会へ説明並びに意見聴取をさせていただこうと思っています。基本的に一定の方向が出れば、展示物等の具体的な中身についての専門委員会を立ち上げる流れになっていますので、その予算を出すということであれば、建設に向けた一定の方向性が出ていると思っています。タイムスケジュールは現在まだ具体的にお示しする段階にはありません。第5回の結果に沿ってその後の流れを決定させていただきたいと思っています。

三浦議員

世界こども美術館との複合館というC案に少し引っかかる部分があったので、これをお伺いしておきたいのですが。名称の件、前回の検討会で質問があったので複合時の名称案がここに示されていますが、世界こども美術館という場所のそもそもの目的を今後どのように考えられるのか。世界こども美術館の機能は、きちんと名称としてはっきり残すべきだと私は思います。浜田市郷土博物館となった時に、世界こども美術館がそもそも今持っている機能・目的が薄れてしまうのは間違いないと思います。これは仮称とはなっていますが、提案される時に市としてどういう思いを込めて、こども美術館の今後も含めて考えられたのか、その思いをお伺いします。

教育部長

ご指摘がありましたように、こども美術館創作活動館ということで二十数年活動を続けていますし、絵画を含めて高い評価をいただいていることも認識しています。その中での複合案であるC案にある名称について、長年この名称を使っている思いもありますし、また新たに郷土ということ……浜田市郷土資料館の建て替えという意見をいただく議員さんもおられましたし、いわゆる博物館の中には美術館も含まれるということも含めて、いろいろな検討をしています。美術館の名前を残したいという意見も当然ありましたが、今回はあくまでも案ということで、決定ではありませんが、博物館の中には全て包括されることと、浜田市全体の中の歴史的なものも展示するという思いを込めて、仮称ではありますがこういう名称を使っています。決定ではありませんので、いろいろなご意見をいただく中で再度検討する必要は当然あるかと思っています。

三浦議員

それは少し違うと思います。そこにどういう思いがあるかというのが、とても大事だと私は思います。あくまで仮称ですが、こういう所に思いは宿ると思います。包括すると「世界こども美術館」という名前に込められたメッセージがどうしても薄れてしまうと思います。世界こども美術館は浜田の大切な資産だと思いますし、今までの活動を振り返っても大変素晴らしい施設であると思っています。これまでの活動を評価すると部長も仰いましたが、提案する時に、いくら仮であってもそこにきちんと思いを込めて、こういう提案をしていただきたいと思います。

建物案もそうなのですが、世界こども美術館は高松伸さんが建築デザインをされたものだと思いますが、ここに歴史展示室を増設するといった時に、この建物から見える景観・外観への配慮はきちんとされて、この案が出されていると思いますが、今一緒に確認しておきたいと思います。

教育部長

名称については今日の段階ではご意見として承らせていただこうと思っています。確かに、出てしまえばという所があるかもしれませんが、その辺は再度検討させていただきたいと思っています。

設計関係ですが、いわゆる3階多目的ホール部分から海が見えるようになっていますが、屋根部分が少しかかるかと心配しています。ですので、建物図面左側に寄せて、できるだけ海側に行かないように考えていますが、その辺はC案が正式に決まれば設計の中で配慮していきたいと考えています。

三浦議員

繰り返しになりますが、案として紙にも載る以上はこれがベースになって進められていくと思います。建物をどのように活用していくか、それに対する価値がどうなのか、名称も含めて市としての思い等が配慮された案をきちんと出さないと、この建物がどのようなメッセージや機能を持っているのかが変に伝わってしまう可能性が大いにあると思います。そうしたところを十分配慮していただいて、こうした案の提出をしていただきたいと思います。

牛尾議員

僕からも一言お願いしておきたいと思います。6月の一般質問でも言いましたが、サブネームを持たせるべきではないかと。この間の本会議で元市長のお考えについては披歴しましたが、同じ議会で当時の市長に「市長は高松伸さんにだまされているのでは」という質問も併せてしました。その件は別としても……この間たまたまコスタ・ネオロマンチカを岸壁でお迎えした時に印象に残ったのは、日本の家族が複数組、世界こども美術館へはどう行けば良いか、どのくらい時間がかかるのかという質問と、韓国の大邱のファミリーが是非、世界こども美術館へ行きたいが、どう行くのが一番近道だろうかという指摘を受けてご案内しました。左様に世界こども美術館は世界に広く名前が知れ渡っている浜田の財産です。それを軽々に、複合化したから総合博物館だということではなくて。サブネームが良いかどうかは分かりませんが、同じ建物ではあるし総合博物館ではあるけど、他方では世界こども美術館でもある、そういう選択肢でないと、今日まで積み上げてきたものが失われてしまうような恐れがあると思います。同僚議員の発言を聞いて、やはりそうだよねと改めて思い直しました。その辺はやはり丁寧にやってもらわないと。今まで二十年を超えて積み上げてきた世界こども美術館の歴史を壊してしまう。複合施設ができて市民は喜ばないと僕は思います。先ほど西村議員からもありましたが、議会側にはもう少し丁寧に説明していただかないと、議会と執行部との信頼が損なわれると思います。口でいくら両輪と言いながらも、片方の議員を外して歩むような執行部の姿があってはならないと思うので、そうならないようお願いします。

教育部長

ご提案をいただいたサブネームを含めて検討することと、議員への説明については今後しっかり協議なりをさせていただこうと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

佐々木議員

この件は先輩議員からも反対が多かったと聞いています。こういった関心が高い事業について、検討委員会で検討なされていますが、恐らくもう一度市民に返して、作った方が良いかどうかを聞いたら、恐らく反対の方が多いただろうと思います。これはどんな施設を作るのもそうだと思います。図書館でもそうだと思います。そういった反対が多いものについて、いかに政策的に必要だと説得力のある説明ができるかが、議会の判断を左右する大きな道標になると思います。

先日の委員会でもこの資料館を作る必要性を伺いましたが、すぐには

返答がありませんでした。多分他の資料に3点くらいその理由が書いてあったと思いますが、そんな単純なものではない、もっと深いものがこの議会の中にないと、なかなか前向きな議論になっていかないと感じています。恐らくいろいろな理由はお持ちだと思っているので、もし端的に説明できるならお願いしたい。そういったことはまた改めてやりたいということであれば、それはそれでまたお聞きしたいと思います。判断をお願いします。

教育部長

歴史資料館を整備する目的ですが、検討会には3つ、歴史文化の保存と継承等を含めて説明させていただいています。議員さん仰るように、なぜ今また出るのかということも先般質問いただきました。2年前に確かに取り下げさせていただいていますが、その時の指摘事項であった事業費の高さや運営費の面と場所も含めて検討する中で、今年の9月議会で今後の方向性についての検討委員会を設置し、議会や地域の意見を聞いた上で進めさせていただくと報告させていただいています。それを受けてこの4月から検討会を設置して、今検討している流れになっています。確かに、市民に聞いたらどうかというご意見もあろうかと思いますが、前回のパブリックコメントでも結果的には賛成も多くあったと認識しています。反対が多かったから取り下げたというよりも、もう少し説明をしつかりすべきだろうと、事業費も含めた再検討をしていると認識しています。今回その辺を再度検討した上で、指摘のあった点について市の中で検討して、提案していただいたのが主な3案です。その他、廃校についてもいろいろ検討したことも報告させていただいています。そういった中で現在進めている状況です。最終的には予算を調整しなければなりませんし、それには議会の承認をいただくこともありますので、ご理解をいただくための努力は今後も進めていかなければならないと思っています。検討会についてはその都度、資料とともに検討内容を議会に報告させていただいていますので、引き続き報告や協議をさせていただこうと思っていますのでよろしくお願いします。

佐々木議員

検討会がこれを作るわけではないです。あくまで市としてこれを作りたいという大きな目的があるわけですから、説得力のある話を聞かせて欲しくて質問したわけですが、今日も明確な答えが返ってこないのは少し残念です。また何かの折に聞かせていただきたいと思います。

笹田議員

先ほど川上議員からもあったように、テレビ報道を見て「もう決定なのか」といった声が何件か来て。議員は何をしているのだという話を私も正直受けました。まだ全然決定ではないとお伝えしました。ただ、私の周りには反対されている方が多いので、反対の署名運動をしようという話まで出てきました。そうすると、佐々木議員が言われたように、必要な建物だと市民に説明する機会がまだ全然不足している段階の中で話が進んでいると感じます。今の段階で建設反対の署名運動が起こったとしたら、どのような対応を取られるのでしょうか。

教育部長

そういったことは想定しておりませんでした。あくまでも検討会で、する・しないも含めてやっていると説明したとおりです。検討会には議員も何名かおられますし傍聴の方もおられますが、22人の委員プラス数名ですから、その結果は報道に出たことによって多くの方が知る状態です。報道の中身を指定することはなかなかできないので、見出しはイン

パクトが強い方が結果的に見る側にとっても見やすいのかなということで、今回のような結果になったかなと。特に先般の報道は少し間があいてから出たので、私たちも少し驚きましたが、それぞれが判断されることなので異論は挟めません。あくまでもまだ決まったことではないですし、それを市民の方にどうお知らせするかはこの件に関わらず課題だろうとは思っています。議会に早めにお知らせしようと資料を作れば、資料が出た段階で報道にも同時に出る場合もあります。気を遣いますし悩ましいところがあります。決まってない中で決まったかのような意見が出るのは、タイミングについては検討なり……署名運動はしていただかない方が個人的には助かりますが、回答にならず申し訳ございません。

笹田議員

以前取り下げもしておられますし、今回あのように出ますと、もう決定だと思い込んでいる方が多いと思います。そういった中で署名運動という言葉を目にしましたので、決定してない中で署名運動をするのはどうかともお伝えしたのですが、そういうことを思っている市民がいる以上は、前に進めるのは難しいのではないかと感じました。検討委員会の検討内容はもちろん大切ですが、住まわれる市民のご理解ももちろん大切だと思っておりますので、その辺りへの気配り・目配りが不足している気がします。それも両方進めていかないと、議会に上がってきても話にならないと思います。しっかり考えて進めていただかないと、我々も厳しいと思っています。

教育部長

貴重なご意見ありがとうございました。その辺も含めて少し検討させていただこうと思います。併せて各議員の皆さまに置かれましては、市民の方からご質問なりご意見があれば、まだ決まってないにご回答いただければと思っていますので、よろしく願います。

岡本議員

郷土資料館を新しく建てるといいう言い方をされていますが、私は6月定例会でもお話したとおり、現在の郷土資料館が昭和20年代の建設で耐震的にももたない中、その資料館をどうするのかという視点です。新しい建物が駄目ということではなくて、今の郷土資料館をどうするのかを考えるべきであって、なぜ教育委員会はそれをしっかり言わないのかお尋ねします。

教育部長

現在黒川町にある浜田郷土資料館は確かに非常に老朽化していますし、展示も厳しいことは理解しています。ただ今回は単純にこの郷土資料館の建て替えではないとお話させてもらっていますが、全市的な郷土資料・歴史的資料を集めるのを趣旨としていますので、浜田自治区だけの郷土資料館としての建て替えではないことは、ご理解いただければと思っています。

第3回目の検討委員会では現場を見ていただいています。それまでは少し賛否両論の雰囲気でしたが、現在の老朽化状態や展示状況を見ていただくと、やはり建て替えは必要だという意見に変わられた方もおられます。現状を見ていただいたことは非常に良かったと思っています。ただ、単純に浜田自治区の郷土資料館を建て替えるのではなく、全市の歴史文化の保存と継承のためにと説明しています。併せて、金城自治区以外については支所の空きスペース等に展示して、少しでも皆さんに見ていただく流れにもなっていますので、そういった中で進めさせていただければと思っています。

確かに浜田自治区の資料館をどうするのか、ということであれば、恐らく多くの方が、これでは無理だから新しくしなさいと言われるでしょうが、規模や展示内容となると全市的なものと私どもは考えていますので、単純に浜田資料館だけの建て替えとは言いにくいことは、ご理解いただければと思っています。

川上議員

全市的と言われるが、金城については据え置きです。浜田市は全然構いません。そうすると全市的ではありません。全市的と鼓舞しながら、何とかやっつけていこうという形。私は岡本議員が言われるように、浜田資料館については確かに直した方が良いと思います。別にそれだけで良いではないですか。全市的と言って全部集めなくて良いではないですか。いかがですか。

教育部長

そういったご意見もあろうかと思いますが、教育委員会としては展示イメージにもありましたように、年代ごと、あるいは民族資料等も含めて、やはり浜田市全体のものを展示させていただきたい。特に企画展の場合には各自治区資料館から貸出いただくことも含めてやっていきたいと思っています。位置づけとしては全市的なものとして。ただ、各自治区にあるもの全て浜田自治区に集めようということではありません。各自治区にあるべきものについては、そこで展示活用させていただくことも必要だと思います。ただ、現実的にお客様が来ない所もありますので、浜田の歴史をしっかりと認識・学習してもらおう意味で、こういう形で進めさせていただこうと思っています。

岡本議員

金城は金城であるのだと川上議員が言われましたが、あそこの資料館館長は弥栄の方です。ここにはどのような資料があるか拝聴した時には、全市の資料が入っているとされました。1つ1つについては言われませんでした。私はこの資料館が全市的な資料館で、その資料があるものと認識しています。実際はどうなのですか。

今資料館にある資料は、全市的なものだと館長が言われました。そういう資料があるわけだから、当然全市的なものであるとしっかり言わなければいけないし、それもしっかり調査して答弁しないと。金城は金城で、これで良いのだと言われて、はいそうですかではいけないと思います。しっかり答弁をお願いします。

教育部長

少し誤解を招く表現をしてしまい申し訳ございません。現在の浜田郷土資料館にも1万数千点のいろいろな資料がある中で、展示はごく一部です。現在も全市的ということは、改めてご理解いただければと思っています。

川神議長

その他よろしいですか。

(「なし」という声あり)

この問題は市民の関心が大変高く、今回の報告に関しても執行部と議会の認識の差もあって、まだまだ共通認識をしなければならぬ点がたくさんあると思います。答弁者はきちんとした資料提供と報告、さらにはメディアに関してもきちんとしたものを伝えていけるように。議会と執行部とでタッグを組んだ進め方をしていかねばと思っています。執行部の皆さんも議員の皆さんも、しっかりした議論をしていただくよう今後もお願いします。

私から1点。検討委員会がもう少し続くとのことなので、先ほどの答弁

でも、やる・やらないも含めて検討委員会の意見を重く受け止めるということですが、基本的には市並びに議会がどうするかがメインなので、十分参考意見とするべきですが、する・しないをそこで話すのはどうかと。その辺は議会と再度話し合いたいと思います。よろしくお願ひします。

(4) その他

川神議長
産業経済部長

その他執行部から報告がありますか。産業経済部長。

今回ふるさと寄附の30年度ランキングを資料として提供させていただいていますが、実は先週8月13日で今年度の寄付総額3億円を突破しました。昨日の時点で3億1200万円を寄附いただいています。昨年度は9月6日に3億を突破していますので、24日早い到達となっています。制度改正等の逆風の中、浜田市は順調に推移していることをご報告させていただきます。

教育部長

先週土曜日、2019年度夏季巡回ラジオ体操を陸上競技場で開催させていただきました。議員の方にも多くご参加いただき、大変ありがとうございました。当日は目標500人のところ905人と、非常に多くご参加いただきました。全員に参加賞をお配りできず、後日対応とさせていただいています。主催者側からも、これだけ予定を超えることはなかなかないと喜んでおられました。非常に盛会に開催できました、ありがとうございました。

川神議長

その他ございますか。今の件に関して議員から何か質問がございますか。

川上議員
教育部長

サブ会場についてご報告をお願いします。

サブ会場も開催していただいています。弥栄支所前が20人、杵束地区防災広場が10人、金城のみどりかいかんで31人で、各自治区では61人のご参加となり、合計965人です。大変失礼いたしました。

川神議長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

2 その他

川神議長
田畑副議長

議員の皆さんから何かありますか。

5階の空調設備についてです。7月29日に松阪市議会の議会改革の皆さん方と、この全員協議会室で意見交換する際、外気も非常に温かいし、室内も暖房が効いているかのような状況でした。5階で空調がしっかりしているのは議場と第4委員会室。ここはほとんどエアコンが効かない状況ですので、議場からダクトを引っ張ってここに冷気を送り、扇風機で回して意見交換しました。産業経済部長から報告がありましたふるさと寄附3億があれば、この空調も直ると思いますので是非お願いします。

川神議長

それ以外に皆さんございますか。

(「なし」という声あり)

では私から1件。山陰中央新報に議会のバリアフリーの記事が出ていました。これは今回の参議院選挙に伴って障害をお持ちの方が国会内に入ることに對し、どのような対応をしてあげるべきか議論が進みつつあり

ます。恐らくそれを受けてだと思えますがアンケートが参りまして、浜田市議会の対応についていくらかお答えさせていただきました。そういった経緯で、全市の議会の対応が簡潔にまとめられた表を紙面でご覧になったかと思えます。傍聴席や議場も含めて、浜田市議会は十分な対応がなされているとは言えないということで両方×になっています。それ以外、一部の市では庁舎建て替えの際に検討する、もしくは一部ができているとする中、この表を見て我々も何とかしなければいけない気持ちになっています。現副議長並びに議会事務局長も含めて、今後これをどのように進めていくか、きちんと考えて早急に議論を進めるべく、他市の具体的状況の調査を始めています。一定の情報が集まりましたら皆さんとも議論をして、情報のみならず物理的にもより開かれた議会を目指したいと思っていますので、よろしくお願ひします。

先ほど3億円の話も出ましたが、議場のことは議会でやれというだけではなく、この議場も庁舎管理の一環ですので、この問題も全庁的に考えていただくよう、執行部の皆さんにお願いしたいと思ひます。

それ以外ございませんか。ないようでしたら事務局から。

古森局長

事務局から2点連絡いたします。9月定例会議が始まります。締め切り関係の日程確認を再度お願ひします。一般質問の締め切りが8月23日（金）11時です。FAX・メールの場合は前日の11時ですのでよろしくお願ひします。一般質問のパネルと9月議会の陳情・請願等は8月29日（木）を締め切りとしています。

2点目ですが、先ほどからありますように研修についてです。ご案内のとおり公民館のコミュニティセンター化、新たな住民主体のまちづくりのために、と題した研修会は8月22日（木）の2時30分からと、23日（金）の午前9時から、どちらかの出席ということでお返事いただひいますので、お間違ひないように出席をお願ひします。場所はこちらの部屋です。

川神議長

今の報告について確認しておきたいことのある議員はいらっしゃいますか。

（ 「なし」という声あり ）

それではこれで全員協議会を終わります。

〔 11時 04分 閉議 〕

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 川 神 裕 司